

八郷広報

NO. 124 1965. 11. 15

発行所 八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
電話(柿岡)4番
発行責任者 岩本佳之
印刷所 飯島印刷所

町の人口
男 14,708人
女 15,224人
計 29,932人
世帯数 5,673戸
(11月1日現在)

合併10周年
の記念行事

20日 自動車町内一周パレード
21日 町民レクリエーション大会
23日 合併10周年記念式典
各家庭へ記念品の配布
鳥三(紀夫)一行の演奏(音楽会)

八郷町10年のあゆみ

昭和30年

- 1月 1月1日、柿岡町、小幡村、芦穂村、恋瀬村、瓦会村、園部村、林村、小桜村の7カ村が合併、八郷町として発足した。町長職務執行者友部成一氏。町議会議長吉沢佐内氏。
- 2月 初代町長に大槻忠夫氏就任。
- 11月 小桜第2小学校完成(現在の朝日小)。
- 12月 町議会議員一般選挙が行なわれ、議長に桜井浩蔵氏が就任。

昭和31年

- 4月 国保全町実施。まだ実施していなかった瓦会、芦穂両地区が実施。
- 5月 町の下部連絡組織に区制を実施。全町に134の区をおく。
- 10月 新農村建設特別助成地域に指定される。

昭和32年

- 2月 昭和30年より県立高校の誘致運動をおこなっていたが、石岡一高八郷分校として設置にきまり、第1期工事に着工した。
- 4月 県立石岡一高八郷分校を開校。
- 11月 統合小幡小学校着工。小幡小学校と下青柳小学校の統合を決定、小幡下宿地内に新築着工した。
- 12月 町議会議長に滑川好道氏就任。

昭和33年

- 3月 新農村建設特別助成事業完成。事業の内容は有畜営農施設16カ所、共同集荷所5カ所、果樹園施設3カ所、農事放送施設3カ所、その他4カ所。
- 6月 新町建設審議会設置。
- 12月 8月から新町建設補助事業として着工していた町営有線放送施設が完成した。恋瀬川改修工事着工。統合小幡小学校完成。

昭和34年

- 2月 第2代町長に関野信平氏就任。
- 3月 自治金融基金協会に加入。町内商工業者に自治金融の道をひらいた。
- 柿岡～小幡線町道改良工事完成。
- 12月 町議会議員改選、議長に吉田次郎氏就任。

昭和35年

- 1月 役場庁舎新築工事を開始。
- 4月 高校施設県移管。32年4月開校後、町が年次計画で施設を拡充していたが、整備が終わったので、いっさいを県に移管した。
- 9月 役場庁舎完成。
- 12月 湯袋林道第2期工事着工。

昭和36年

- 1月 朝日林道第1期工事着工。
- 4月 町発足後、柿岡を除く元村役場に7支所を置いていたが、これを全部廃止し、恋瀬、園部の2地区に出張所をおく。
- 5月 有線放送電話施設全町接続。

昭和37年

- 5月 八郷町老人大学開校。



桜井議長



吉田町長

努力する決意を新たにすること、まことに意義深く心から祝い申しあげます。町民の皆様もご承知のとおり、昭和二十八年九月町村合併促進法が公布されて以来、各町村とも地域感情あるいは併進法が公布されて以来、初代町長大槻忠夫氏、二代町

進歩的な町「八郷町」 今後の地方自治は真剣に

桜井 浩蔵

このさい、改めて過ぎし十年の試練と経験とを基礎にして、今後の地方自治を真剣に検討すべき機会と考へるものであります。八郷町十周年記念にさいし、一言申しあげておあいさつ

今回、八郷町で町村合併十周年を記念し、十一月二十三日その式典を挙行し、過去十年の歩みをかえりみ、改めて地方自治の擁護と進展に努力し、町民各位の理解と協

立地条件の格差、または経済的状況などの問題があつて、容易に合併の機運を見いだしがたい状況でありました。しかしながら当時の各町村長ならびに議員各位の熱心な努力と町民各位の理解と協

軌道にのってきた町を さらに発展させたい

吉田 次郎

私は、合併十周年という記念すべき時点に立って、さらに心を新たに、町の

昭和三十年一月一日、旧柿岡町など一町七カ村が合併し、面積一五三平方、人口約三万四千という県下において二番目に大きい町として発足して、ここに十周年をむかえました。一例をあげてみますれば、

- 7月 36年3月に着工していた芦穂統合小学校が完成した。

昭和38年

- 2月 第3代町長に吉田次郎氏就任。
- 3月 大塚、大増地区農地交換分合完了。
- 6月 西光院林道第1期工事着工。
- 12月 町議会議員改選。議長に桜井浩蔵氏就任。折戸橋完成。

昭和39年

- 1月 八郷町建設第2次実施計画つくる。消防施設整備第2次5カ年計画つくる。消防自動車ポンプの整備、消防団員の整理の実行に入った。
- 3月 町営住宅第1期分の20戸が完成。半田、川又地区農地交換分合完了。
- 4月 老人福祉センター完成。
- 6月 県道石岡～下館線が地方主要道として、石岡～柿岡間の改良舗装工事が着工された。

- 8月 統合南中学校完成。小幡、小桜両中学校を統合した南中学校は、38年1月着工していたが、8月完成した。

- 9月 町議会議員選挙の小選挙区制を廃止し、次の一般選挙から大選挙区とし、議員の定数を22名と議決。
- 10月 5日、農業共済事業の町移譲実施。農業共済課を設置し、町営とした。

昭和40年

- 1月 1本杉林道完成。36年に着工し、年次計画で施行していたが、1月完成した。
- 2月 町営住宅第2期分の20戸が完成。八郷町農業協同組合が発足。38年以来合併の準備を進めていたが、小桜をのぞく7つの農協が合併した。
- 5月 統合柿岡中学校第1期工事完成。
- 8月 柿岡地区簡易水道給水開始。
- 10月 有明中学校新築第1期工事着工。

ゲーンと増えた火災！ すでに10件、損害約767万円

11月26日～ 12月2日まで 秋の火災予防運動週間

寒くなると、火を使用することが多くなり、火災発生がぐんと増えます。今年はまだ十件の火災発生があり、損害額は約七六七万円の多額にのぼっています。十一月二十六日から十二月二日まで、秋の火災予防運動週間として、防犯思想の普及徹底にあたることになりました。

▼チャットの不注意が思わぬ災害をまねきますので、次のことに十分ご注意ください。

▼マッチは、子ども等の手のとどかない所に

▼取炭は、土壁、鉄板、コンクリートなどで、おつた所に

▼たばこの火は、よく消してから捨てる

▼なき火のあとをしっかりと完全に、こまめに消す

▼ちようちん、コソクなどは置き忘れのないよう

農業構造改善事業 地区ごとに説明会ひらく

ただいま町では、農業構造改善事業の実施目標を昭和四十二年度において、農業の近代化と自立経営農家の育成をめざし、各地区ごとに説明会を開き、強力に推進しています。

計画は地区(部落)の総意で

町では、農 ことに説明会や部落座談会を業構造改善事業 開き、実施基準の説明を行な業の実施目標 っており。昭和四十二年におき、
 ■実施目標は42年度
 現在、各地区 実施年度をなせ昭和四十二年



(青穂地区で説明する経済課長)

年度においたかといいますが、事業の性質上、事業費の約五〇%が土地基盤整備事業に振り向けられ、地区の選定、測量、関係機関の予備調査などに長期間かかることが予想されますので、少なくとも二、三年ぐらいい前に地区の選定が終了しないと困難です。

したがって、町でもこの線にそって準備を進めており、この事業の大きなねらいは、町内の一定地区を選定し、その地区内の農家群を対象として、そこに新しい農業経営の組織をつくり出す。

このように行なうためには、部落(地区)全体として今後の農業生産をどのような作物、あるいは、どのような家畜を中心と考えて経営の合理化を図っていくのかがよいかということになります。すなわち、部落(地区)ごとに自主的に適地適作物(基

幹作目)を選定し主産地形成をめざして計画を立てることになっており、国の助成もこの基幹作目に直接関係する事業に対して、重点的に助成が行なわれます。

収益あがる作目を

以上のようなことから、部落(地区)ごとに次にかかげるようなことを重点において計画を立てることが必要になってきます。

▽その作目を基幹とする農業経営によって、どれだけ収益の向上を見込むことが出来るかどうか
 ▽その作目が目ざした市場において、継続的に有利な販売の地位を占める程度の取引数量の生産を確保することが出来るかどうか
 ▽その作目の選定や作目の構成がその部落(地区)の就業情にそくして変更される場合があるかどうか

農業構造改善補助の対象となる基準

- ① 土地基盤整備事業
土地の区画整理、それに附帯して行なうかんがい排水工事、暗きょ排水工事及び客土工事などの事業
- 農地整備事業
イ、ほ場整備事業及び換地 1団地5ha以上
ロ、交換整備事業 交換分合は1団地20ha以上
- 土地改良事業
イ、かんがい排水事業 1団地20ha以上
ロ、知地かんがい事業 1団地20ha以上
ハ、暗きょ排水事業 1団地20ha以上
ニ、客土事業 客土土量は10a当り18m³以上とし、1団地20ha以上
ホ、農道事業 1団地20ha以上とし、一般農道延長1,000m以上、幅員2m以上。連絡農道400~500m以上のを2本程度、幅員5.5m以上
ヘ、素道事業 1団地4ha以上、延長400m以上
- 農地造成事業
イ、農地造成事業 集団果樹園面積5ha以上、養蚕協業経営2ha以上
ロ、農地造成改良事業 すでにできている農地から集団果樹園にもっていく。1団地の面積5ha以上
- 草地造成改良事業
集約牧草地の造成改良及び牧道などの整備事業で1団地の面積5ha以上

父子契約

父と子の立場みとめあい すでに7組が契約

農業後継者対策の一 つとしてすすめている父子契約は、農繁期中にもかわらず、親と子の立場をみとめあい、明るい農場をつくらうとするかたがたの熱意によって、十一月十日現在で、七組の契約が結ばれました。

これまでに、契約の結ばれた内容を見てみると、部門契約、資金契約などいろいろなケースがありますが、これから父子契約をとり入れてみたいというかたがたのために、すでに契約された藤岡さんほか一つのケースを参考までにのせてみました。

経営をまかせた 藤岡さんの場合

経営譲渡契約...農業経営のいっさいをゆずる。ただしその代償として生活の安定のために、毎月一万円を支払うとともに、老後の保障をすること。

藤岡角太郎さん(太田)は田畑約一・五ヘクタールを耕作するとともに、乳牛八頭を飼育していますが収入の大部分は乳牛からとります。すでに藤岡さんは年令的に労働が無理なので、息子の博さん(38才)にいっさいの経営をゆずり、老後の保障はし

野菜栽培まかせ 吉野さんの場合

資金契約...野菜栽培による販売額を目標を年間三十万円とし、その六〇%十八万円を年三回に支給する。ただし、支給額の増減はあるものとする。

吉野光雄さん(南山崎)は、親子三人の労働力で田畑約二ヘクタール、栗畑四〇アールを耕作するとともに、豚を一〇〇頭飼育しています。そこで、長男の宇一郎さん(16才)にきまめたごぶかいをゆずり、仕事に精をだしてもらうために、根菜類を主とした野菜の収入を支給するように資金契約を結びました。



1位になった原田さんのヨークシャ

小桜地区で 畜産共進会

畜産振興を奨励しようとの目的から小桜農協では、小桜まつりの十一月十日・十一日の二日間、種豚、肥育豚、乳牛を対象に第一回畜産共進会が開かれ、次のかたが

たが入賞した。

- ◆種豚の部
 - 一位 原田泰次郎
 - 二位 中村 重、吉田常吉
 - 三位 石上 芳、原田長男
 - 原田 栄
- ◆肥育豚の部
 - 優秀賞 中村 重
 - 努力賞 櫻村正一
 - ◆乳牛の部
 - 経産牛 一位 梅谷正吉
 - 未經産牛 一位 萩原久芳

さいきん、子豚の「伝染性肺炎」という病気がはやっています。この病気は、生後二カ月から三カ月の子豚がおもにおかされる病気で、一頭かかると二日の内に全部が病気になるります。

病気がかかると三日目ぐらいから下痢をはじめ、どんな下痢どめを飲ませてもなおらず、最後は栄養不良になり、死ぬという恐ろしい病です。

「伝染性肺炎」
この病気は、豚コレラとはちょっと違い、一部落または一豚舎に限られますが、やはり伝染することはいずれもありませんので豚コレラと同じに防疫処置が必要です。病気になるから早めに獣医さんに相談を。(農業改良普及所)

毎月、第3日曜日は「家庭の日」

「お互に聞こう話そう家庭の日」

ひょう害募金額

地区	戸数	現在	金額
筒 間	862	33,710	円
小 幡	545	19,850	
小 幡	529	16,790	
小 幡	533	22,150	
小 幡	463	17,150	
小 幡	593	23,755	
小 幡	319	11,360	
小 幡	603	17,970	
小 幡	4,447	162,735	

見舞金 一六二、七三五円

さっそく現地へ送金

さる九月、東北地方をおそったひょう害に対し、各区長さんを通じて救援募金を運動を展開しましたが、皆さんのご協力により十六万二千七百三十五円の見舞金が集まりました。

集まった見舞金については、さっそく県の災害対策本部を通じて現地に送金しました。

町ではご協力いただいた皆さんに、紙上をおとす厚くお礼を申し上げます。



お知らせ

11月30日までに
 11月の納税
 国保税 第三期分
 有線放送使用料

ただいま、昭和四十一年産麦の申告とりまとめを行なっています。申告用紙は区長さんを通じて配布しましたから、作付けした耕地の地名地番、10アール当りの平年収量などをはつきり書いて、十一月三十日までに申告してください。

心配ごと相談日
 12月1日
 12月8日
 12月15日
 12月22日

婦人学級・婦人会
 合同で研究会
 ◆12月13日 恋瀬、五会、園部地区(五会分館)
 ◆12月14日 柿岡、芦穂、林地区(八郷公民館)
 ◆12月15日 小幡、小桜地区(小桜分館)

研究テーマ
 (1) 婦人の地位の向上
 (2) 道徳教育
 (3) 地域開発と婦人
 (4) 公明選挙
 (5) その他

地域開発研究 中央集會

八郷一周駅伝大会
 ◇とき 11月30日(火曜日)
 ◇コース 八郷一周(37km)
 関鉄車庫前-林局前-南山崎火の見前-瓦会十字路-恋瀬教場-弓張-旧芦穂小前-吉生笛田精米所-小幡小-小桜農協前-柿岡教場玄関前

参加者 中学、高校、青年、一般体育協会、教育研究会、青年団
 主催 当日は午前10時スタートの予定。町民の皆さんのご声援をお願いします。

成人者としての門出を祝福するため、今年度も一月十五日に鹿島神宮で成人式典を行うことにになりました。

成人式典 実施計画

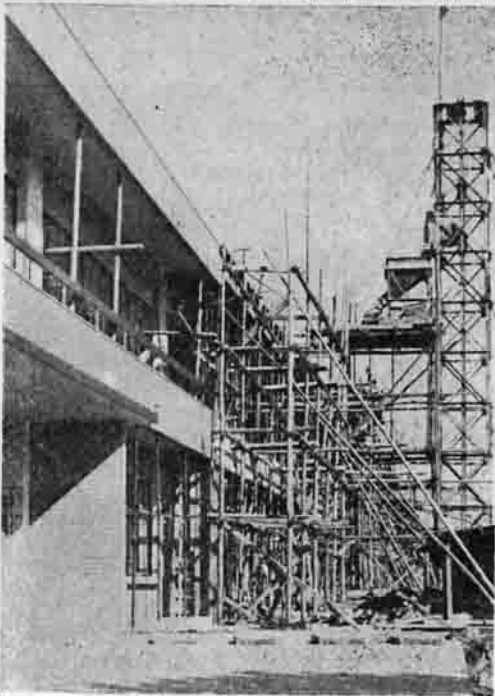
○期日 昭和41年1月15日(午前七時～午後五時)まで
○式場 鹿島神宮
○該当者 昭和20年1月16日昭和21年4月1日までに生れた者で、当町に住民登録のある者

成人式の実施計画決定 式典参加は学年ごとに

○その他 昼食は町で準備します。くわしいことは本人あて通知します。なお、昨年と変わった点として
□成人該当者は学年別で、昨年までは一月十五日現在で満二〇才というところで、学年ごとではなかったが、今年度から学年ごとに実施することになった
□住民登録がないと参加できない...今年度からは八郷町に住んでいる者ということになり、十二月十五日現在で、町に住民登録がないと参加できません。

建設すすむ 柿岡中の第二期工事

八月から着工された柿岡中の第二期工事、四十二年二月の完成をめざしてハイビツ



完成へハイビツの柿岡中

演芸を楽しむ 老人たち



盛大だった「百寿会総会」

年一回、町内全部の老人が顔を合わせる「八郷町百寿会連合会総会」が、さる10月24日八郷高校で開かれ、1,020名が参加。午前10時から花火を合図にはじめられ、会のためにつくされた人々への感謝状の贈呈や、講演があって総会終了。午後は、東都一流芸能人の演芸に、講堂は、笑いのうずでいっぱいになった。

町と県の人口

Table with columns for Year (昭和40年, 昭和35年), Category (世帯, 総数, 男, 女), and Location (八郷町, 茨城県).

調査 町の人口二八、七三六 五年間に一、九三四人も減る

今年十月一日現在で行なった国勢調査も、調査員のかたがたの協力によって、早く調査を完了しました。



導師の読経に頭をたれる遺家族

遺家族など700名が参列

しめやかに慰霊祭

昭和40年度の慰霊祭が、11月6日午前10時から高友殉国の碑前に遺族など関係者700名が参列し、しめやかに行なわれた。慰霊祭は開式のことにはじまり、導師14名により英霊のみたま安らかれと約15分間にわたり読経が行なわれた。



明るい心 本多さん

おとしよりを招き 「秋の味覚観賞会」

小嶋の岡野さん

若くして全日本 書作家会員に

若い書道家、小嶋の岡野道男氏(26才)が、これまでの実績を認められ、全日本書作家会員に推せんされました。

天皇陛下に柿の献上を

つづける、大字真家の本多文雄さんが、さる十一月二日自宅に園部第三百周年会のおとしより約三〇名を招き、「秋の味覚観賞会」を開きたいへん喜ばれた。

片言

行なわれた時の人口三〇、六七〇人からみれば、一、九三四人も減っていることになり八郷町も農山村の人口流出という全国的な傾向を示していることになりました。

埼玉県のそき園芸を視察



高級野菜レタスの栽培管理を
きく学園生(円内は上田君)

温室に咲き乱れる洋ラン!
農業経営に大きな夢と希望

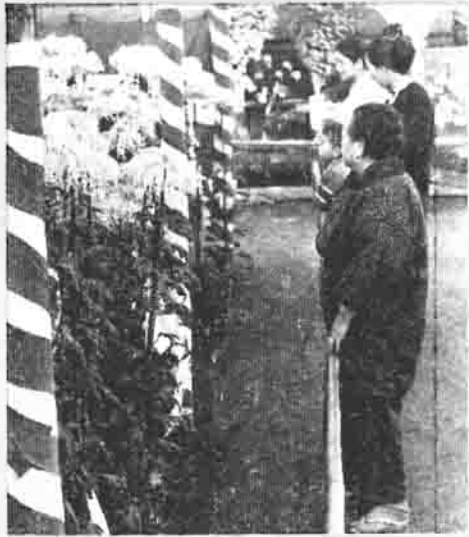
青年学園県外研修記

昭和四十年八郷町青年学園の県外研修は、晴天に恵まれた十一月十一、十二日の両日埼玉県の児玉町と北本町で行なわれました。

この研修の目的は、県外先進地の農業の現勢を見学し、農業の近代化に対する認識を深めて経営合理化の推進をするという事と、相互の親睦をはかることだ。

養菊会主催の
品評会に

すばらしい菊花
256点出品



みごとに咲き競う「菊花」

昭和四十年八郷町養菊会を主催する第10回八郷町養菊会菊花品評会が十一月五日行なわれ、その後二十四日まで常陽銀行柿岡支店の中庭で展示されています。



忙しき時期に30日間
秋のとり入れなどの忙しい時期に、農家の子どもたちを預かり父兄の負担を少しでも軽くしようと五谷に季節保育所を開きました。

俳句 増子海哉選
細谷 金沢 翠柳
東山崎 荒井 岳山
上青柳 銀香堂主人
白もあり紫もある野菊かな
吉田次郎選

秋の移りの大き安らぎ
五谷 増子 久子
あかね空たちまち暮るる山映の烟にあわたしは掛うん機音
何事によらずおのれをいつわらず生きたしとねがふきびしこの世に
林 嶺月選
戸の内 白田 正源
秋の名残りの野立の席に彩えて舞いこむ散り紅葉
加生野 田村 芦舟
金に動かぬ心の重さ人の目方はそこにある
金指 関口 双峰
石の地蔵さんあの道辻に立つて見守る交通禍

青年学園研究科生 上田 正 範

このほか、長壽の散歩や吉見百穴の史蹟をたずねるなど、多くの思い出を残して今年度の県外研修を終ったわけですが、一つ残念に思うことがあります。それは参加人員が三七名と割り合いに少なかつたことです。

今年も十一月の声をきくと、そろそろ成人式。一月十五日の「成人の日」には各地で式典がおこなわれ、毎年いろいろなことが問題にされています。そこであらためて、二、三の問題について考えて見ましょう。

男と女の育ち方00

女の子の育ちが昔から早くおとなっぽくなります。その第一に、身体のうちでおとなのしるしがはつきりする。第二には早くから「ヨソにいく」心の準備をさせられるからです。

華美になる成人式00

ところで成人式の日になると、どこでも毎年、問題になるのは、娘の着が華美になりすぎるということです。個性のある娘だったら、みんなが着ている和服に白のシ

晴着は親のPR?00

しかし、晴着は着がざらせる親のほうからのPRなので、す。娘も、そろそろ婚期です。から、どうぞお見知りおきください!」この親の心理を刺激すれば、訪問着の一着ぐらいたやすいことと、舌を出していた娘さんがいました。晴着で着かざるお祭りではありません。

おとなの自覚を00

若い男女の交際のチャンスをほしいところほど、お祭だ、行事だということが適令期のおひろめになり、着るものが華美な「よそゆき」になるということでは、娘さんに叱られるかもしれないが、そういう晴着は、サルまわしのサルのヒモみたいなものだといえませんか。これでは「おとな」になることをじやまされていくように考えられま

紙上講座 成人式は適令期の「おひろめ」?

それに比べると、女の子はヨメにいく、つまり他人の中にはいることを前提に教育されます。だから現代のようすが、毎年いろいろなことが問題にされています。そこであらためて、二、三の問題について考えて見ましょう。

おとなの自覚を00

若い男女の交際のチャンスがほしいところほど、お祭だ、行事だということが適令期のおひろめになり、着るものが華美な「よそゆき」になるということでは、娘さんに叱られるかもしれないが、そういう晴着は、サルまわしのサルのヒモみたいなものだといえませんか。これでは「おとな」になることをじやまされていくように考えられま

洋服や和服の保存に

洋服や和服の保存に、防虫剤はなくてはなりません。防虫剤には、しょうのうとナフタリンの二種類ありますが、しょうのうは植物性で、ナフタリンは動物性です。二つともガス状になって防虫剤の役目をはたします。

しょうのうとナフタリンを

しょうのうとナフタリンをいっしょに使うと、作用が合ってガスにならず水になってしまいます。そして防虫効果がなくなり、衣類に水がついてしみができます。防虫剤を買ったときは、使用方法をよく読み、しょうのうとナフタリンをいっしょに使うのをやめましょう。防虫、殺菌の両方をかねた製品が出ておりますが、長もちしないようです。

暮しのメモ

洋・和服の保存に
しょうのう
ナフタリン